
PRESS RELEASE

ロンドン、2018年11月28日

世界のプラチナ需要は、2019年に2%超の増加を予測

- 2019年の需要は、産業の継続的成長と投資回復により上昇
- 2019年の自動車分野予測には、プラチナによるパラジウムの大幅な代替は考慮せず
 - 2019年のプラチナ余剰は、2018年の余剰から10%低下

2018年11月28日ロンドン：The World Platinum Investment Council（WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル）は本日、『*Platinum Quarterly*』最新版を発表しました。これは同機関が独自に実施し、無料で提供する世界プラチナ市場に関する四半期毎の分析です。本レポートでは、2019年の予測に加え、2018年第3四半期、2018年および2019年通期のプラチナの需給と供給に関する分析をお届けします。

2019年の予測では市場余剰量は455kozで、供給が1.6%増と需要が2.4%増であるため、2018年度の余剰量に比べ10%減となると見えています。2019年度の需要増加は経済成長を反映して、主に化学および石油業界が牽引するものと見られ、また、地金とコインの堅実な需要に加えて、ETFが回復するため、投資需要が倍増することによります。

自動車分野では課題が残り、これはヨーロッパの一部都市でのディーゼル車に対する制限に伴い不確実性が存在し、ヨーロッパでのディーゼル関連需要が、消費者感情の冷え込みで減少を続けるためです。自動車分野における需要は減少を続けることは確実ですが、減少率は小さなものに留まります。

パラジウム価格はプラチナを1オンス当たり300ドル上回りますが、自動車分野における2019年のプラチナ需要予測には、パラジウムのプラチナによる大幅な代替は考慮していません。経済および供給面での懸念があるため、自動車メーカーは、パラジウムからプラチナへの部分的な切り替えを検討することが強く求められます。切り替えには、技術開発と認証のためにコストがかかる可能性があります。これは現在のパラジウムのプラチナに対する価格差で十分に相殺されると思われる。

2019年のリサイクルプラチナの供給増加は、前年度比1%に留まると予想されますが、これは自動車触媒の供給増加が、宝飾品リサイクルの軟化を相殺するためです。

WPIC 最高経営責任者 Paul Wilson（ポール・ウィルソン）によるコメント：

PRESS RELEASE

ロンドン、2018年11月28日

「2019年は、産業分野でのプラチナ需要の継続的な増大と投資需要の回復のため、明るいものとなっています。より多くのETF投資家が、プラチナのパラジウムおよびロジウムとの価格差の拡大に興味を示すものと考えられます。2018年の地金とコインへの需要は年初から210kozと堅固で、前年比45%の上昇が見込まれます。これは当カウンシルの製品開発努力と、金とプラチナの大幅な価格差によって加速されていると考えています。

新規のプラチナ投資製品とサービスは、当カウンシルのRoyal Mint、Tanaka (TKK)、Valcambi、GraniteShares、BullionVault、それに最近の当カウンシルの上海オフィスとHengfu、Taiyuan (CNOOC)との強固なパートナーシップで可能になりました。

2018年は、第3四半期のレポートが示すように、特に自動車分野における不調が続き、プラチナにとって厳しい年となりました。しかし、2019年には多くの明るい動向が予想されます。」

2018年

本日のレポートでは、2018年の採掘供給量は2017年度から1%下降するものと予測しています。南アフリカでの昨年度からの操業中断の減少により、15kozの小さな生産増がありましたが、これは主にロシアの軟調で相殺されると予想されます。2018年のプラチナ供給量と需要予測のアップデートとしては、主に宝飾品需要の軟調により、余剰が295kozから505kozに増加します。

世界でのプラチナ需要は、2018年には前年比で4%落ち込むと見られますが、多くの明るい見通しもあります。産業分野での需要は、石油分野での前年比85%増とガラス分野での19%増が貢献し、8%上昇します。石油分野では、軟調だった2017年度からの回復が見込まれます。これは日本での2017年の精製所の操業停止が過去のものとなったことによります。ガラス分野の需要増加は、中国と他国 (RoW - is this abbreviation for rest of world? If so, please leave the translation as it is.) で今年操業開始する新工場によるものです。

インドにおける宝飾品の2桁の成長は、中国における消費者支出の減少と低カラット金宝飾品との競合によりある程度相殺されるため、2018年には宝飾品需要は2%下がると予測されます。

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードや、今後調査結果を無料で受取られるための登録については、WPICのウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

ロンドン、2018年11月28日

2018年度第3四半期

	2016	2017	2018年度予測	2019年度予測	2018年度予測/ 2017年度成長率 (%)	2019年度予測/ 2018年度予測成 長率 (%)	2017年度第 3四半期	2018年度第 2四半期	2018年度第 3四半期
プラチナ供給バランス (トン)									
供給量									
総産量	188	191	189	192	-1%	1%	49	50	51
南アフリカ	132	136	137	138	0%	1%	36	36	38
ジンバブエ	15	15	14	14	-3%	0%	3	4	4
北米	12	11	11	13	0%	12%	3	3	3
ロシア	22	22	21	21	-5%	-3%	6	6	6
その他	6	6	5	6	-6%	6%	1	1	1
生産者在庫における増減 (+/-)	+1	+1	-0	+0	N/M	N/M	-0	+2	-1
鉱山からの総供給量	189	191	189	192	-1%	2%	49	51	51
リサイクル									
総供給量	57	59	59	60	1%	1%	15	15	15
自動車触媒	38	41	44	45	6%	3%	10	11	11
宝飾	19	17	16	15	-11%	-4%	5	4	4
工業	0	0	0	0	0%	0%	0	0	0
総供給量	246	250	248	252	-1%	2%	64	66	66
需要									
自動車	108	104	97	96	-7%	-1%	24	25	22
自動車触媒	104	99	92	91	-7%	-1%	23	24	21
ノンロード	4	4	5	5	4%	3%	1	1	1
宝飾	78	77	75	76	-2%	1%	18	18	18
工業	55	53	57	59	8%	4%	13	15	14
化学	17	18	18	19	-3%	7%	5	4	5
石油	7	3	6	7	85%	30%	1	1	1
電気	6	6	6	6	-3%	0%	2	1	2
ガラス	6	6	7	7	19%	-2%	1	2	2
医療	7	7	7	7	2%	0%	1	2	1
その他	12	12	13	12	6%	-6%	3	3	3
投資	17	8	4	8	-53%	100%	0	-2	2
年金、コインの増減	14	6					1	2	2
ETF保有者の増減	0	3					-1	-4	0
取引所在庫の増減	3	-1					0	0	0
総需要量	258	241	232	238	-4%	2%	55	56	56
廃棄量	-12	9	16	14	77%	-10%	8	10	9
地上在庫	129*	58	67	97	23%	17%			

PRESS RELEASE

ロンドン、2018年11月28日

メディア関連のお問い合わせ先 : Kekst CNC

Claire Maloney (クレア・マローニー) または Simren Priestley (シムレン・プリーストリー)

電話 : +44 (0) 20 7551 604 / +44 203 7551 670

wpic@cnc-communications.com

編集者への注記 :

Platinum Quarterlyについて

*Platinum Quarterly*は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される史上初のレポートです。*Platinum Quarterly*はWorld Platinum Investment Councilの出版物です。これは主に、白金族金属市場において権威のある独立機関のSFA Oxford(SFA)に依頼し、実施された調査および詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル)は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報を求める投資者の方々の増え続けるご要望に応えるため設立されました。WPICの使命は、実用に役立つ見識と目標を定めた商品開発を通じて、プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Lonmin (ロンミン)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター)です。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。www.platinuminvestment.com

WPIC事務局住所 : 64 St James' s Street, London, SW1A 1NF

SFA (Oxford) について

SFA (Oxford)は2001年に設立され、白金族金属市場において最も重要な権威のある独立機関の1つであるとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全性は、鉱山から、市場、リサイクル

PRESS RELEASE

ロンドン、2018年11月28日

に至るコンサルティング業務、並びに他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広範かつ多岐にわたる業界知識を有し、それぞれがバリュー・チェーンの主要分野を専門領域としている専属のPGMアナリスト9名、および世界各地を拠点とする多くの提携スタッフで構成されています。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

データまたは論評のいかなる部分も、著者による書面での許可なしに、資本市場（資金調達）へアクセスする特定の目的のために使用することはできません。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください：<http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、その特徴的な性質により、様々な需要分野において価値の高いものとなっています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンズ）の72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の37%から41%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の20%となっています（過去5年間の平均）。同じく過去5年間の宝飾品におけるプラチナ需要は、年間平均でプラチナ総需要の35%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要の2%から11%を占めています（地上在庫の増減をく）。

免責事項

World Platinum Investment CouncilおよびSFA (Oxford) のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。www.platinuminvestment.com

PRESS RELEASE

ロンドン、**2018年11月28日**
